

# つみ すく 罪からの救いぬし

1. 【あんしょうせいく】かいて、おぼえよう。(マタイ 1:21)

2. マリヤの<sup>あか</sup>赤ちゃんは、<sup>なに</sup>何によって<sup>やど</sup>宿ったのでしょうか？ <sup>ひだり</sup>左の文字を<sup>もじ</sup>ならびかえて、<sup>みぎ</sup>右に  
<sup>ただ</sup>正しいことばを<sup>か</sup>書いてね。(マタイ1:20)

『その<sup>たい</sup>胎に<sup>やど</sup>宿っているものは

いいせれ →



によるのです。』

3. <sup>せいしょ</sup>聖書を読んで、<sup>ただ</sup>正しいものに○を、<sup>まちが</sup>まちがっているものに×をつけてね。(ローマ 7:18-21)

- ( ) <sup>わたし</sup>私 (<sup>にんげん</sup>人間) のうちには、<sup>ぜん</sup>善が<sup>す</sup>住んでいます。
- ( ) <sup>わたし</sup>私 (<sup>にんげん</sup>人間) のうちには、<sup>つみ</sup>罪が<sup>す</sup>住んでいます。
- ( ) <sup>わたし</sup>私 (<sup>にんげん</sup>人間) はいつも<sup>ぜん</sup>善をおこなっています。
- ( ) <sup>わたし</sup>私 (<sup>にんげん</sup>人間) はいつも<sup>あく</sup>悪をおこなっています。

※「私」とは、<sup>わたし</sup>うまれつきの<sup>にんげん</sup>人間の<sup>せいしつ</sup>性質 (<sup>にく</sup>肉) を意味します。

4. <sup>にんげん</sup>人間は「<sup>つみ</sup>罪の<sup>りっぽう</sup>律法の<sup>ほりよ</sup>とりこ (捕虜)」になっています (ローマ 7:23)。<sup>つみ</sup>罪から<sup>じゆう</sup>自由になるためには、<sup>ただ</sup>どうしたらいいのでしょうか？ <sup>ただ</sup>正しいものに○をつけてね。

- ( ) <sup>よ</sup>たくさんの良いことをする。
- ( ) <sup>いま</sup>今までしてきた<sup>わる</sup>悪いことをあやまる。
- ( ) <sup>わる</sup>これからずっと悪いことをひとつもしない。
- ( ) <sup>つみ</sup>罪からの<sup>すく</sup>救いぬしにたすけてもらう。

5. イエスさまは「<sup>つみ</sup>罪からの<sup>すく</sup>救いぬし」です。イエスさまは、どんなことができるかな？